

ビデオ 通信

2024年
12月2日(月)
No.4818

月・木曜日発行
月額：¥11,000(税込：¥11,880)
発行：飯澤剛
編集：齋藤浩一

ユニ通信社

〒114-0024
東京都北区西ヶ原 3-57-17-202
TEL：03-5422-7515
FAX：03-5422-7516
E-mail：vt@uni-press.net

先進映像協会 日本部会

「ルミエール・ジャパン・アワード 2024」発表・授賞式を開催

4K部門GPは「1789ーバステューユの恋人たちー」(宝塚クリエイティブアーツ、パナソニック映像)

8K部門GPは「アッテンボローのディープオーシャン 紅海 神秘的魔境」(NHK)

VR部門GPは「FZMZ 1st Live “DEEP:DAWN”」(ソニー・ミュージックエンタテインメント)



先進映像協会 日本部会 (AIS-J) はこのほど、Inter BEE 2024 が行われた幕張メッセの「Inter BEE IGNITION × DC EXPO」企画セッション オープンステージにおいて、「ルミエール・ジャパン・アワード 2024」および「グッド・プラクティス・アワード」の発表・授賞式を開催した。「ルミエール・ジャパン・アワード」は、国内で制作・公開された優れた先進映像コンテンツ

を表彰することにより、良質なコンテンツの拡大と品質の向上を目的として、2011年から行われている。14年目を迎えた今回は、4K部門グランプリを(株)宝塚クリエイティブアーツとパナソニック映像(株)の「タカラヅカ・レビュー・シネマ星組公演『1789ーバステューユの恋人たちー』」、8K部門グランプリをNHKの「アッテンボローのディープオーシャン 紅海 神秘的魔境」、VR部門グランプリを(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント「FZMZ 1st Live “DEEP:DAWN”」が受賞したほか、各部門で優秀作品賞、特別賞の受賞者にトロフィが贈られた。一方、グッド・プラクティス・アワードは、当該分野の普及・発展への寄与が期待される先進映像の特性に着目・活用した取り組みを表彰するために2013年度に新設されたもので、(株)フジテレビジョンの「4K・HDR 放送番組全編における生成AIの多様な活用」が受賞、2作品に奨励賞が贈られた。

実際に劇場で見ているような映像に

表彰式では、4K部門グランプリ「タカラヅカ・レビュー・シネマ星組公演『1789ーバステューユの恋人たちー』」を手がけたパナソニック映像の石黒一哉氏(写真→)



が「この作品は、実際に宝塚劇場で上演されたミュージカルを4Kで撮影し、映像はドルビービジョン、音響はドルビーアトモスで仕上げ、最終的にはドルビーシネマとして劇場公開された。私は主にオンライン編集とグレーディングを担当したが、実際に劇場で観ているような映像になるよう心がけた」とコメントした。

また、VR部門特別賞を受賞した「Challenge for the Creation～青の精鋭たち～」でプロデューサーを務めた山田紘子氏と監督の中村貴一朗氏(ともにソニーPCL(株))が登壇。山田氏(写真中央)は「この作品は、防衛省航空自衛隊航空幕僚監部広報室が、ブルーインパルスの活動への理解を得ることを目的としたドーム映像を公募し、当社が企画制作をした作品。実写撮影においては、歪みがなく高画質、ドームで見た時に、観客が見たいものが視界の中心に来ることを大切にして撮影を行った。また、ドームの撮影の特性上、超広角レンズでの撮影になるため、被写体が遠く見えてしまったり、被写体に近寄りすぎると巨大化して見えてしまうような制限があったが、寄りの画に関してはコミック調のグラフィックで描写することで広角に偏らず、寄りもバランスよく取り入れて構成することを目指した。この作品は航空自衛隊浜松広報館で上映されているので、ぜひ多くの方に見ていただきたい」と述べた。



「ルミエール・ジャパン・アワード2024」の受賞作品は次の通り。

【4K部門】

▽グランプリ：タカラヅカ・レビュー・シネマ星組公演『1789ーバステューユの恋人たちー』（宝塚クリエイティブアーツ、パナソニック映像／写真→）

▽優秀作品賞：特集ドラマ「重なるう」（日本放送協会、松竹／写真①）

▽特別賞：TimeTrip 伊豆半島ジオパーク～噴火と衝突を繰り返す伊豆諸島～（フジテレビジョン／写真②）

▽特別賞：ネイチャー&ヒューマンスペシャル シリーズ13 青い森を継ぐ家族（長野朝日放送／写真③）

▽特別賞：KOBÉ203X | Virtual Production × Volumetric Capture | 4K HDR（神戸市、ソニーPCL／写真④）

▽特別賞：あなたの知らない京都旅～1200年の物語～「金閣寺と花の社」（BS朝日、イースト／写真⑤）

▽特別賞：三屋清左衛門残日録 ふたたび咲く花（日本映画放送、JCOM、BSフジ、藤沢周平／写真⑥）

【8K部門】

▽グランプリ：アッテンボローのディープオーシャン 紅海 神秘の魔境（日本放送協会／写真→）

▽優秀作品賞：神木の森へ 台湾阿里山森林鉄道（日本放送協会、



PTS / 写真⑦)

▽特別賞：Memories of Portrait（関西テレビ放送 / 写真⑧）

【VR 部門】

▽グランプリ：FZMZ 1st Live “DEEP:DAWN”（ソニー・ミュージックエンタテインメント / 写真→）



▽優秀作品賞：よるとうげ（ソニー・ミュージックエンタテインメント / 写真⑨）

▽特別賞：Challenge for the Creation ～青の精鋭たち～（ソニー PCL、防衛省 / 写真⑩）

▽特別賞：ウルトラセブン THE ATTRACTION 史上最速の作戦（円谷プロダクション、ダイナモアミュージメント、アエックス / 写真⑪）

▽特別賞：Hop Step Sing! VR ライブ ほぷサマ 3rd（講談社 VR ラボ / 写真⑫）

▽特別賞：VR GEISHA GAMES（BS 朝日 / 写真⑬）

【グッド・プラクティス・アワード】

▽本賞：4K・HDR 放送番組全編における生成 AI の多様な活用（フジテレビジョン / 写真→）



▽奨励賞：SORATABI ～近未来の宇宙を体感する XR バスツアー～（日本テレビホールディングス、トヨタ紡織 / 写真⑭）

▽奨励賞：子どもでも楽しめる XR 体験プロデュース（関西テレビ放送 / 写真⑮）

◇先進映像協会 日本部会 <https://advancedimagingociety.jp/>



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪



⑫



⑬



⑭



⑮